

| 科目名  | 歴史                                      | 英語科目名   | Historical Studies |
|--|---|---|--------------------|
| 開講年度・学期  | 平成28年度通年                                | 対象学科・専攻・学年  | 全学科 3年             |
| 授業形態   | 講義                                      | 必修 or 選択  | 必修                 |
| 単位数  | 2単位                                     | 単位種類  | 履修単位               |
| 担当教員   | 酒入陽子                                    | 居室(もしくは所属)  | 管理棟3階              |
| 電話   | 内線173                                   | E-mail  | ysakairi@小山高専ドメイン名 |
| 授業の到達目標  | 授業の到達目標との対応                             |   |                    |
|  | 小山高専の教育方針                               | 学習・教育到達目標(JABEE)  | JABEE 基準           |
| 1. 過去の歴史をまなぶことにより、現代の社会を客観的、相対的にとらえ熟考できる。  | ①                                       |   |                    |
| 2. 日本近現代史の流れを正しく説明できる。   | ①                                       |   |                    |
| <b>各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法</b>   |   |   |                    |
| 1～2について、前期中間試験、前期末試験、後期中間試験、後期末試験、および課題に対する提出物、授業での報告や発言内容によって評価する。  |   |   |                    |
| <b>評価方法</b>  |   |   |                    |
| 前期中間試験、前期末試験、後期中間試験、後期末試験の平均点(80%)<br>課題に対する提出物、授業での報告や発言内容(20%)   |   |   |                    |
| <b>授業内容</b>  |   | <b>授業内容</b>   |                    |
| A. 日本史のうち「近現代史」を中心に、授業をおこなう。<br><br>1. イントロダクション — 歴史と現代社会 —<br>2. ペリー来航の衝撃 — 鎖国と開国、および鎖国以前の社会 —<br>3. 幕末の貿易と混乱<br>4. 尊王攘夷と公武合体 — そして討幕<br>5. 大政奉還と王政復古<br>6. 明治維新と文明開化 — 後発国の近代化 — 中間試験<br>7. 明治政府の外交 — 岩倉使節団と征韓論 —<br>8. 前近代の世界観 — 中華思想と華夷秩序 —<br>9. 近代国家と国境 — アジアとの外交<br>10. 日本の中の異国 — 琉球・アイヌ・小笠原 —<br>11. 立憲体制への道 — 国会開設と憲法 —<br>・・・(定期試験)・・・<br>12. 帝国主義の時代<br>13. 日清・日露戦争<br>14. 第一次世界大戦<br>15. 第一次世界大戦後の世界 — 平和と国際協調とデモクラシー —<br>16. 軍の台頭 — 満州事変・日中戦争 —<br>17. アジア・太平洋戦争<br>18. 冷戦と日本 |   | B. 核と人類 — 技術者の役割を歴史から考える～<br><br>1. 原爆使用と歴史認識 — 原爆投下をめぐる歴史認識 被害と加害 —<br>2. 冷戦と核開発競争<br>3. 戦争責任と戦後責任<br>4. 核の平和利用 — 原発と原発事故 — 中間試験<br>※ 上記の内容を適宜取り上げていく<br>Bは、後期授業開始より、中間試験までの内容 |                    |
| キーワード  | 近代 国家 戦争 冷戦 核 歴史認識                      |   |                    |
| 教科書  | 山川出版社『新日本史B』、歴史冊子「高専生のための歴史学」、その他プリント配布 |   |                    |
| 参考書  | 必要に応じて指示する                              |   |                    |
| カリキュラム中の位置づけ   |   |   |                    |
| 前年度までの関連科目   | 地理、政治経済                                 |   |                    |
| 現学年の関連科目   | 倫理社会                                    |   |                    |
| 次年度以降の関連科目   | 歴史学、哲学、人間と科学                            |   |                    |
| <b>連絡事項</b>  |   |   |                    |
| 歴史を学ぶことは、過去のことがらを知るだけでなく、それが現代社会にどのような影響を及ぼしているかを認識し、自分自身や現代社会を見つめなおすものです。常に新聞やニュース注意し、現代社会の問題を意識してみてください。<br>“歴史は、暗記ではない”   |   |   |                    |
| シラバス作成年月日  | 平成28年2月29日作成、                           |   |                    |

| 科目名   | 歴史学   | 英語科目名  | Historical Studies |
|---|---|--|--------------------|
| 開講年度・学期   | 平成28年度通年  | 対象学科・専攻・学年   | 建築学科 4年            |
| 授業形態  | 講義  | 必修 or 選択   | 必修                 |
| 単位数   | 2単位   | 単位種類   | 履修単位               |
| 担当教員  |   | 居室（もしくは所属）   | 酒入教員室 管理棟3階        |
| 電話  | 酒入 内線 173   | E-mail   | ysakairi@小山高専ドメイン名 |
| 授業の到達目標   | 授業の到達目標との対応   |  |                    |
|   |   | 小山高専の教育方針  | 学習・教育到達目標 (JABEE)  |
|   |   | JABEE 基準   |                    |
|   | 1. 歴史を学ぶとは単に「過去を学ぶ」ということではなく、「過去を通じて現代を学ぶ」ということであることを評価できる。 | ①  | D                  |
| 2. 日本の歴史と世界の歴史を関連づけて、多角的・グローバルな視点から熟考できる。   | ①   | D  | ab                 |
| 3. 単に歴史上の諸事件を「知る」だけでなく、自分なりに「考える」ことができる。  | ①   | D  | ab                 |
| 各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法   |   |  |                    |
| 到達目標 1-3: 中間試験および定期試験において60%以上の得点により達成とする   |   |  |                    |
| 到達目標 1-3: 課題に対する提出物、授業での報告や発言内容を、客観的・論理性で評価する   |   |  |                    |
| 評価方法  |   |  |                    |
| 1. 前期後期それぞれの中間試験および定期試験の成績: 60%   |   |  |                    |
| 2. 小テストの成績、提出物の成績: 20%  |   |  |                    |
| 3. 授業中のプレゼンテーションや発言内容: 20%  |   |  |                    |
| 授業内容  |   | 授業内容   |                    |
| 前近代社会を知る —内なる異文化—   |   | 8. 室町期、日本の朝鮮との貿易   |                    |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テーマ1: 前近代の外交</div> 1. イントロダクション 前近代の外交とは?<br>2. 「鎖国」体制下の日本の貿易<br>— 鎖国中、日本は貿易しなかった? —<br>3. 徳川家康外交と貿易<br>— 家康の外交戦略 —<br>4. 豊臣秀吉の外交と貿易<br>— 秀吉の強硬外交 —<br>中間試験<br>5. 「倭寇」とは何か?<br>6. 鉄砲伝来と大航海時代<br>7. 室町期、日本の外交と貿易<br>— 勘合貿易・日本国王— |   | 9. 鎌倉期の外交と貿易<br>— 元寇と日元貿易 —<br>中間試験<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テーマ2: 前近代の宗教</div> 1. イントロダクション 前近代の宗教とは?<br>2. 江戸幕府による宗教統制<br>— 禁教令・寺院法度・本末制度 —<br>3. 江戸幕府による宗教統制<br>— 神道・陰陽道・修験道・その他 —<br>4. 江戸時代以前の宗教勢力<br>— 秀吉・信長と宗教勢力との対立 —<br>※ 上記の内容を適宜取り上げていく予定<br>※ 授業内容に変更が必要となった場合は、受講者に対して速やかに通知の上、これを行う。 |                    |
| キーワード   | 日本の対外関係 日本の宗教と諸勢力   |  |                    |
| 教科書   | 第一学習社『日本史A』、その他プリントを配布                                      |  |                    |
| 参考書   | 必要に応じて指示する  |  |                    |
| カリキュラム中の位置づけ  |   |  |                    |
| 前年度までの関連科目  | 地理、政治経済、倫理社会、歴史   |  |                    |
| 現学年の関連科目  | 哲学  |  |                    |
| 次年度以降の関連科目  | 人間と科学   |  |                    |
| 連絡事項  |   |  |                    |
| 1. 授業方法は、学生によるプレゼンテーションと講義を隔週ごとに行う。<br>2. 隔週ごとに、講義の内容について小テストをおこなう。<br>3. 定期試験は時間を90分とし、ノート・レジュメ等の持ち込みは不可とする。   |   |  |                    |
| シラバス作成年月日   | 平成28年2月29日作成  |  |                    |

|  |                        |                  |                                      |
|--|------------------------|------------------|--------------------------------------|
| 科目名  | 人間と科学Ⅰ（歴史学）            | 英語科目名            | Cultural Science(Historical Studies) |
| 開講年度・学期  | 平成28年度 前期              | 対象学科・専攻・学年       | 全学科 5年                               |
| 授業形態   | 講義                     | 必修 or 選択         | 選択                                   |
| 単位数  | 1単位                    | 単位種類             | 履修単位                                 |
| 担当教員   | 酒入陽子                   | 居室（もしくは所属）       | 管理棟3階                                |
| 電話   | 内線173                  | E-mail           | ysakairi@小山高専ドメイン名                   |
| 授業の到達目標  | 授業の到達目標との対応            |                  |                                      |
|  | 小山高専の教育方針              | 学習・教育到達目標(JABEE) | JABEE 基準                             |
| 1. 日本の現代社会と前近代社会とを比較して、その違いや特色を説明できる。  | ①                      | D                | a b                                  |
| 2. 過去の歴史を学ぶことにより、今日の国際的な社会のしくみや、国家間の、結びつきや対立を、歴史的な視点から説明できる。                                       | ①                      | D                | a b                                  |
| 各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法  |                        |                  |                                      |
| 到達目標1-2：定期試験において60%以上の得点により達成とする<br>到達目標1-2：中間試験の成績、課題に対する提出物、授業での発言や報告内容で評価する                     |                        |                  |                                      |
| 評価方法   |                        |                  |                                      |
| 次の2項目に対する加重平均により評価する。<br>1. 定期試験の成績：70%<br>2. 提出物の成績、中間試験の成績、授業中の発言や報告における内容：30%                   |                        |                  |                                      |
| 授業内容   |                        |                  |                                      |
| ドキュメンタリーなどの映像資料を見ながら、現代社会の諸問題について考えていく。  |                        |                  |                                      |
| 1. イントロダクション ～第二次世界大戦後の世界～<br>アジア・アフリカの戦後 —民族独立と大国の理論—<br>冷戦 Cold War —恐怖のなかの平和—                   |                        |                  |                                      |
| 2. ベトナム戦争 —アメリカは誰と戦ったのか？—  |                        |                  |                                      |
| 3. カンボジア紛争 —ポルポト政権—  |                        |                  |                                      |
| 4. パレスチナ問題 —中東問題（1）—   |                        |                  |                                      |
| 5. 冷戦終結、その後の新たな戦争<br>—ユーゴスラビア紛争—   |                        |                  |                                      |
| 6. ルワンダ内戦 —国連の役割と限界—   |                        |                  |                                      |
| 7. 増え続ける難民 —終わらぬ紛争 中東問題（2）—<br>※上記の内容を適宜取り上げていく予定。<br>※授業内容に変更が必要となった場合は、受講者に対して速やかに通知の上これを行なう     |                        |                  |                                      |
| キーワード  | 映像 冷戦 紛争 難民            |                  |                                      |
| 教科書  | 特に指定しない 授業中にプリントを配布    |                  |                                      |
| 参考書  | 必要に応じて指示する             |                  |                                      |
| カリキュラム中の位置づけ   |                        |                  |                                      |
| 前年度までの関連科目   | 地理、政治経済、歴史、倫理社会、哲学、歴史学 |                  |                                      |
| 現学年の関連科目   | 人間と科学Ⅱ                 |                  |                                      |
| 次年度以降の関連科目   |                        |                  |                                      |
| 連絡事項   |                        |                  |                                      |
| 1. 講義の中で、毎時間、授業内容に関連したリアクションペーパー（提出物）の提出を求めます。<br>積極的に授業に参加するように。<br>2. 定期試験では、各自の研究に基づいた小論文を課します。 |                        |                  |                                      |
| シラバス作成年月日  | 平成28年2月29日作成、          |                  |                                      |

|   |                        |   |                                       |
|---|------------------------|---|---------------------------------------|
| 科目名   | 人間と科学Ⅱ（歴史学）            | 英語科目名   | Cultural Science( Historical Studies) |
| 開講年度・学期   | 平成28年度 後期              | 対象学科・専攻・学年  | 全学科 5年                                |
| 授業形態  | 講義                     | 必修 or 選択  | 選択                                    |
| 単位数   | 1単位                    | 単位種類  | 履修単位                                  |
| 担当教員  | 酒入陽子                   | 居室（もしくは所属）  | 管理棟3階                                 |
| 電話  | 内線173                  | E-mail  | ysakairi@小山高専ドメイン名                    |
| 授業の到達目標   | 授業の到達目標との対応            |   |                                       |
|   | 小山高専の教育方針              | 学習・教育到達目標(JABEE)  | JABEE基準                               |
| 1. 過去の歴史を学ぶことにより、今日の国際的な社会のしくみや、国家間の、結びつきや対立を、歴史的な視点から説明できる。  | ①                      | D   | a b                                   |
| 2. 日本の現代社会と前近代社会とを比較して、その違いや特色を説明できる。   | ①                      | D   | a b                                   |
| 各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法   |                        |   |                                       |
| 到達目標1-2：定期試験において60%以上の得点により達成とする  |                        |   |                                       |
| 到達目標1-2：中間試験の成績、課題に対する提出物、授業での発言や報告内容で評価する  |                        |   |                                       |
| 評価方法  |                        |   |                                       |
| 次の2項目に対する加重平均により評価する。   |                        |   |                                       |
| 1. 定期試験の成績：70%  |                        |   |                                       |
| 2. 提出物の成績、中間試験の成績、授業中の発言や報告における内容：30%   |                        |   |                                       |
| 授業内容  |                        | 授業内容  |                                       |
| <b>テーマ1：</b><br>19世紀末～第二次世界大戦までの世界の様子を、映像というリアルな資料を見ながら考えていく。<br><br>1. イントロダクション 20世紀の幕開け<br>2. 第一次世界大戦<br>—帝国主義の果てに人類が経験したものは—<br>3. アメリカの繁栄 光と影<br>—1920年代のアメリカ—<br>4. ヒトラーの野望<br>—独裁者は民衆の支持の中から生まれた—<br>5. 第二次世界大戦<br>—悲惨な戦場とユダヤ人絶滅収容所—<br>中間試験 |                        | <b>テーマ2：</b><br>前近代の社会を、当時の文献資料から読み解いていく。地域の歴史から、現代社会を考える。<br><br>1. イントロダクション<br>小山氏一族と古文書・記録の世界<br>2. 鎌倉時代の小山氏と東国<br>3. 室町時代の小山氏と関東公方<br>4. 戦国時代の小山氏<br>5. 近世の小山氏<br>6. エピローグ<br>小山氏一族の興亡と北関東<br><br>※上記の内容を適宜取り上げていく予定。<br>※授業内容に変更が必要となった場合は、受講者に対して速やかに通知の上これを行なう。 |                                       |
| キーワード   | 映像 戦争 戦国時代 法令          |   |                                       |
| 教科書   | 特に指定しない 授業中にプリントを配布    |   |                                       |
| 参考書   | 必要に応じて指示する             |   |                                       |
| カリキュラム中の位置づけ  |                        |   |                                       |
| 前年度までの関連科目  | 地理、政治経済、歴史、倫理社会、哲学、歴史学 |   |                                       |
| 現学年の関連科目  | 人間と科学Ⅰ                 |   |                                       |
| 次年度以降の関連科目  |                        |   |                                       |
| 連絡事項  |                        |   |                                       |
| 1. 講義の中で、毎時間、授業内容に関連したリアクションペーパー（提出物）の提出を求めます。積極的に授業に参加するように。<br>2. 定期試験では、各自のリサーチに基づいた小論文を課します。  |                        |   |                                       |
| シラバス作成年月日   | 平成28年2月29日作成           |   |                                       |